

新春インタビュー 要 宏輝さんに聞く

毎日、毎日ストライキ、まさに「泣く子も黙る全金」

まず学生の頃の話から、どんな学生だったのですか。

「青春の目標」の奥浩平と同期で、学生時代は学生運動が盛んでバスで基地めぐりなんかやってたね。

全金へはどういう経緯で入ったのですか。

親戚に全金大阪の組織内で社会党衆議院議員の久保田鶴松という人がいて、卒業前にその選挙（1967年1月）を手伝わされたのがきっかけ。大学出てすぐ秘書で組合のオルグです。

総評の高野実さんが本（『日本労働運動史』）のなかに「泣く子も黙る全金」と書いていたけど、運動に入ったからわかったものすいストライキ打ったもった。ピークは60年代から70年代。74春闘の賃上げ率が33%というような数字が出たこときやね。あのころは統一ストライキに重ねて単組が独自ストライキを打つ。ビュクリするくらいのもつ。ビュクリするくらいのもつ。ストライキ数、そして赤旗の林立...。ストライキのときは、具体的には何をやるんですか。

あの頃は新聞記者が全金大阪の事務所にわんさと来るんや。その連中の接待で寿司を買って行ったり。よう記事になってた。当時は西高東低型春闘と言われて、全金は「西の雄」と言われてた。実践で労働運動のオルグとしての



要 宏輝さんプロフィール
1944年2月1日生・香川県坂出市出身
横浜市立大学卒
金属機械大阪地本本部書記長、連合大阪副会長・副事務局長・中小労働運動センター所長等を歴任
現在連合大阪なんでも相談センター相談員、大阪府地方労働委員会労働者委員

金属機械(旧全国金属)のオルグとして34年、連合大阪で4年、一貫して闘う労働組合の先頭に立つてがんばってこられた要 宏輝さんが、昨年10月、連合大阪を退職され、現在はその経験を持って「連合大阪なんでも相談センター」の相談員として活動に当たっておられます。私連大阪地域合同労働組もかつて要さんには何度も指導を仰ぎ、時には学習会の講師として貴重なお話を聞かせていただきました。2004年の新年にあたり、要さんの労働運動の経験、想いを聞かせていただきました。

勉強をされたということですね。労働学校も行ったたり、企画したりした。当時はビラ作るのも機転で印刷やから、口ウ原紙を家に持って帰ってガリ切りしたりね。いわゆる内局でキャリアを積むわけやね。

倒産・刑事弾圧・大手の脱退3つの嵐が吹き荒れて

全金の組合員はどのくらいいたのですか。
10人くらいの書記局やっただけど、ピークのときは組合員が4万人おった。全金同盟とトントンになるくらいまでいったけど、一挙に1万人そこそこ、に切り刻まれた。

倒産の嵐、刑事弾圧の嵐、それから大手組合の全金脱退の嵐の3つ。あつという間に減っていった。瞬間にして2、3千人落ちるときもある。70年後半から80年前半やね。オイルショック、円高、加えて3つの攻撃の嵐と言うてもええね。

組合をつぶすために会社ごとつぶすということですね。
そうそう、あのころはね。逆に開き直って、「会社がつぶれても組合はつぶれない」というスローガンかかかって闘った。堺地域を担当していたときに、1日に3つ会社がつぶれたことがあった。2月20日の五・十払いの日ですわ。1人の常任で夜も寝る間がない。あのころは暴力団が出てきよったから。タクボ工業

のときは、ヤクザが黒背広の内に隠し持っている拳銃の形を見せて組合員を脅す。それで組合員がビビッても「そんなことでビビルな」と言うて工場占拠続けてがらばつたけど、裁判所が保全命令出して、大阪の債権者はへとも思わない。暴力団はレッカーであつたという間に機械設備を持っていく。倒産処理手続きのなかで、組合つぶしの不当労働行為を貫徹させるといった事例も多かった。労組法の使用者の範囲は社会的に広く、破産管財人や裁判官に対しても使用者性を求めて闘った。経営者も必死で組合と対峙していったんですね。

当時、関西経営者協会が中之島公会堂に全金関係の経営者を集めて模擬団交をやった。経営者の訓練やね。他にも「全金の経営者は組合と熾烈な労使交渉をやっているんやから」と言うて、「取引銀行や親会社は全金の経営者を応援するよ」要請文を出したり：ね。やっぱり全

金に対して組織的で系統的に攻撃がかけられたと思うね。そんな中で大手の光洋精工、昭和アルミが抜けていった。大手では唯一ユアサ電池が残った。刑事弾圧というのは、逮捕者の数はそんな大きな数やないけど、任意出頭の乱発が怖かった。一般の組合の役員さんはビビッてしまう。家庭からつぶされて、本人が「刑事弾圧の心得」というパンフをつくって皆に持たしとった。

どんな刑事告訴だったんですか。いわゆる団体交渉が監禁罪、強要罪、暴行受けたとか。でつち上げも合めてやられましたね。本来の暴力団を取り締まる「暴力行為等処罰に関する法」で労働組合もやられた。共同謀議とかで任意出頭を乱発する。ゴリつた活動家でないといつぶされていく。

「闘う労働者は飢え死にしない」：素人には意思が込められている

年がら年中争議状態ですね。でもあのころはね、春闘も争議も運動会のようにのびのびと楽しかったという感じもあつた。逆に悲観的になつたら負ける。我々はオルグやから、組合員に対して「闘う労働者は飢え死にしない」とか言うて、当時は現実には労働債権プラスアルファを取ってたし。素人には意思が込められているが、悲観は情緒に流

全金大阪地本本部大阪地協各ブロック拠点支部闘争状況 (74春闘)

月	闘争内容	東淀川ブロック (13支部)		西淀川ブロック (13支部)		東淀川ブロック (13支部)		西淀川ブロック (13支部)	
		参加者数	参加率	参加者数	参加率	参加者数	参加率	参加者数	参加率
1	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
2	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
3	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
4	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
5	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
6	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
7	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
8	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
9	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
10	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
11	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
12	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
13	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
14	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
15	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
16	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
17	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
18	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
19	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
20	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
21	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
22	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
23	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
24	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
25	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
26	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
27	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
28	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
29	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
30	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%
31	全金闘争	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%	27,000	22.00%

労働運動を今まで続けてこられた理由は何ですか。最初から労働運動に一生をかけるつもりはなかったけど

オルグは現場に顔を出すだけでいい分速う。今は売掛金まで担保協定されていて労働債権がとれない。占拠という戦術が実を結ばない。闘いにくくなっている最大の原因と違うかな。以前とはずいぶん変わってきているね。

工場の地価も上がらんし、今後は労働組合の活動も難しくなる。でもあのころはね、春闘も争議も運動会のようにのびのびと楽しかったという感じもあつた。逆に悲観的になつたら負ける。我々はオルグやから、組合員に対して「闘う労働者は飢え死にしない」とか言うて、当時は現実には労働債権プラスアルファを取ってたし。素人には意思が込められているが、悲観は情緒に流



若山精電支援行動